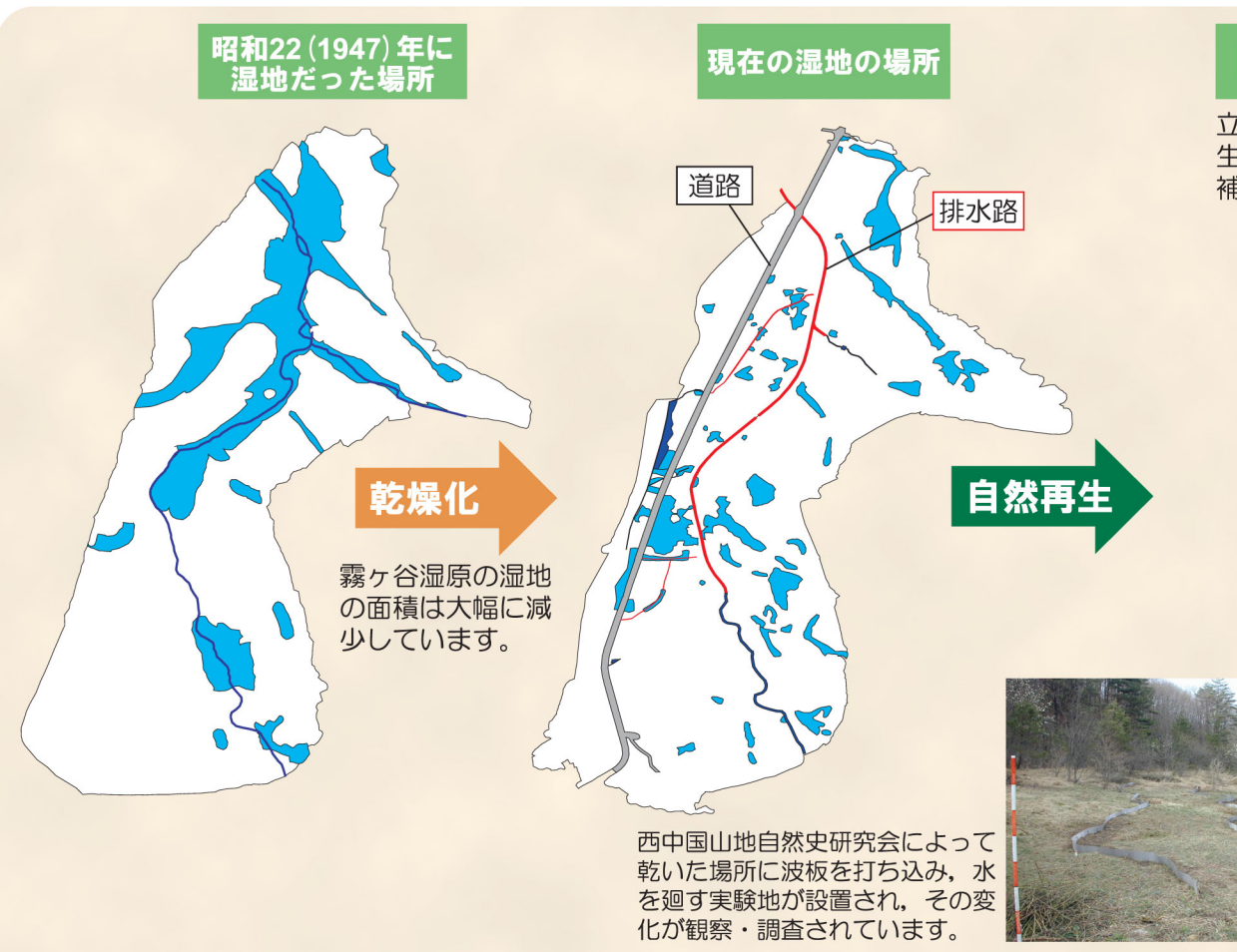


霧ヶ谷湿原のすがた

ポイント 水を廻した後は
できるだけ自然にまかせて

霧ヶ谷湿原の変化

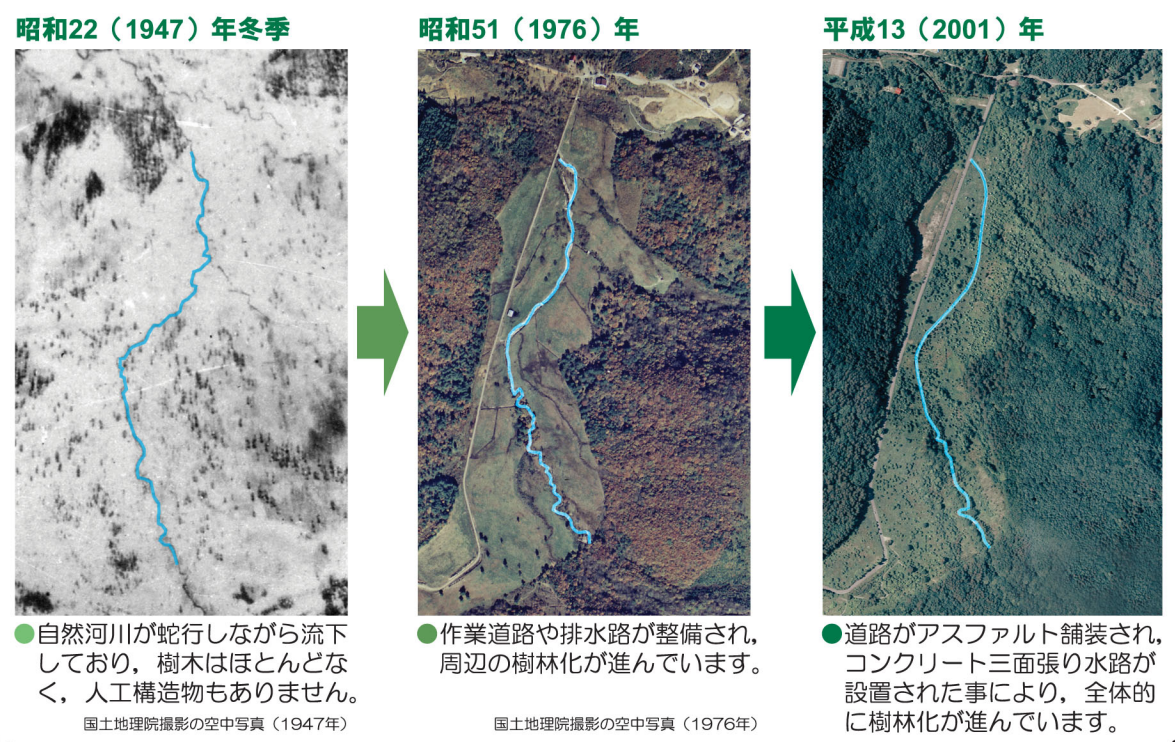


目標とする生態系

立地条件の違いによって水環境に変化ができ、このような様々なタイプの湿原生態系が成立することを期待しています。うまく水が廻らないときには水路の補修などの必要最低限の管理を行います。



空中写真では、河川の蛇行の変化や、樹木が茂ってきている様子がわかります。



○ **草刈り草地ゾーン**
傾斜があり、もともと湿原ではなかったゾーンです。ここは草刈り草地として管理していきます。

○ **保全ゾーン**
牧場化による乾燥化の影響が小さく、自然な状態が保たれているため、このままこれからの変化を見守ります。

● **ミスゴケゾーン**
わき水などがあるゾーンです。ミスゴケが広がり、マアザミなどの背の低い植物が多くみられます。

霧ヶ谷湿原の生き物たち

霧ヶ谷湿原では、植物であればノハナショウブやユウスゲ、動物であればカスミサンショウウオやヒメシジミ、トンボの仲間のヒロシマサナエなどの珍しい生き物がいます。湿原はこういった生き物の生活の場としてとても重要です。

